

ります、又不合せな者を入れる養育院とか種々の慈善事業がございます、要するに尙ほ日本に於ては女子の方の教育に餘地が幾らもあるものであります、幼稚園の方は専門でない故に御参考になるをも申されませぬが、幼稚園は教育の初めでありますから、三歳子の魂百までと云ふ大事の時に基礎を作り上げて他日立派な紳士淑女を出すようにしたいものでござります、進んで小學校それ以上の學校でも西洋にあつて日本にまだない良い事は追々採用して日本の女子教育を完全に近い域に成るべく早くしたいと思ふのであります、今日は一向纏まつたお話が出来ませぬで、折角の會でありましたけれども唯々心に浮んだ儘を秩序なく申しましたのでお聞き苦しうござりましたらう (完)

衣食住と体育との關係

四十八

井口あぐり子

此間清水さんから私に今日此の會に出て何か話をする様にと云ふことの御話がござりましたのでござります、私は亞米利加に三年居りましたけれども、御恥かしい事には幼稚園の方に關する事と云ふものは一向存じませぬと云つても宜い位なものでござります、時々は見ましたこともありますけれども氣を留めて參觀に參つたのもござりませぬ所から何も幼稚園の方に關係することは一向存じませぬから御断り申しましたけれども、幼稚園の事でなくとも何でも宜いから話をして呉れる様にと云ふ御話がござりました、私の見るとか聞くとかしました事は重々に体育の方に關係することばかりでござりますから、それでも宜い

ばと申しますとそれでも宜いと云ふことで、今日「衣食住と体育との關係」と云ふことに就て此に出て御話をする事になりましたが、一寸一時の假りの題でござりまして私の御話申上げますことが彼の範圍の事もござりませうし、夫れをこえて種々の附たりの御話が多くなるかも知れませぬ、皆さんに御目に掛つて御茶でも戴きながら御話をする積りで申上ぐるので六ヶしい事は私にはとても申上げられませぬのでありますから其の御積りで願ひます、私が向うに参ります時亞米利加は男に限らず女に限らず体育は盛んであると云ふ事を承つて居りましたが向うへ行くと豫想外に盛んでありませんので、これならば人が種々騒ぐも無理ならぬ事と思ひました、殊に女子の方の事に就いて重るに目を

留めて見たり聞たり致したのでござりますが、只今の日本の女の有様と比べますと雲泥の差ひがあると言つても宜い程であらうと思ひますが一体日本でも只今の所は此の四五年あつてござりませうが私の向うへ参る時分から少しは女子の体育に人の氣を着ける様になりましたが、私の参りますでは女子体育などはさう喧ましく言はれぬ時でござりました、それで先づ一番に目に着きましたは日本で云ふ中年以上四十歳以上の女の方が若い方と同様に雜つて一緒に運動をする有様でござります、それが私は驚愕りした一つでござりまして、はしめての時は何んだか狂氣じみて見えましたのでありました併しさういふ様に体育の盛んな所からでありませうか人が皆な元氣でござります、皆なが活潑でいくつになつても進取の氣象がなくな

らぬこととござります、即ち其の證據には私の知る人に七十歳以上の老婦人があつてそれが獨逸語佛蘭西語を稽古して一週間に何度となく語學の先生に通ふ、私等の考へでは片足棺桶に入れたと同様の者が獨逸語や佛蘭西語を稽古して何になるかと思ひますが一般在さういふ氣象であるのでありましたこの様な方々が一方には殊に体育に氣を着けて居られます身体の健康に氣を着ける處からさういふ進取の氣象も衰へぬこととあらうと思はれました、一体に小さい時から幼稚園或は尋常小學校あたりの時分の元氣の氣象が老年まで續いて居ると申してもよろ御坐いますが、それは詰まり身体に就きての注意がよく行き届きて身体の丈夫な所から精神が衰へずに元氣を持つて行く事が出来るのであらうと考へたのでありました、一体々育

と云ふことは今此で改めて申すまでもなく範圍が廣い事でござりますが、ザツと分ければ運動衛生でござりませうが、運動の中には体操と云ふ規則正しい運動と、遊戯とか散歩とかいふ規則立たぬ運動もありませう、世の中の人は一寸した人は間違へまして体育と云ふと直ぐ体操と思ふ人があら、衣食住に關係する、其中分つて言へば重々に運動と云ふ方が規則正しい方の体操とか、規則正しくない(或は正しい内に入れても宜いかも知れぬ)遊戯、これは學校で教育して行く時に直接たつさはる事業、衣食住は學校でも關係せねばならぬが重々に家庭で行かねばならぬこと、思ふ、尤も兩く相待つべき者で、一方が一方を顧みぬ様でもいけますまい、それで運動と云ふことは

日本でも學校でも二三年此の方氣を着けて、大層喧ましく研究になつて居ります、併し之を向うの亞米利加あたりの有様と比べれば日本は肩を並べらるゝ所の話でない足許にも行かれぬと云ふ考へがあります向うの有様を一寸申せば幼稚園の方は餘り喧しく規則立つた体操などは致させませぬ、日本の様に遊戯の中に自然に体力を發達させることを重もに致して身体を丈夫にさせる様にします。が尋常科の一年あたりから体操は這入るのであります。それから女は尋常科高等科を卒業してから高等女學校などに這入り、それから大學に這入りますが尋常一年から大學まで續いて致します。体操は徒手体操に加ふるに機械体操、これは學校に依つて式があつて或る學校は瑞典式を爲し、或る學校は獨逸式或は亞米利加式といろ／＼ちがつた式の

体操をして居りますが何處の學校でも徒手体操ばかりでない、手足の体操の外に男の体操の様に綱上りとか梯子上りとかいろ／＼の器械をします。つまり男の人のするも女のするも一樣であります、學校の生徒の時は勿論、中學校大學を卒業して後もそれで体操は全くせられぬものなどいふ考は少しもありません。体育に心を用ふる人は幾ら年を取つても、種々体操を教ふる學校がござりますから其處へ行つて白髮の御婆さん杯が若い人と一緒にやつて居ります、勿論奥さん方の晝の行かれぬ者は夜行き、晝の中でも一定の時間を設けて体操の學校へ一時間二時間行つて居る、又教員とか或は勞働する女とか工場に出て居る様な女などでも矢張り一週間に二三度位大抵夜食後から体操學校に行つて体操を稽古するのであります。が矢張此等の

女子でも手足を動かすばかりでなく器械を用ひてする様な事があります、それは体操の事ばかり申したのでござりますが、右申上た様な小學校の尋常科より大學まで通はして体操を重く見るのみならず學校外のものでもドウかして時を拵へて規則立つた運動をする事に氣を着けて居る、それから規則立たない方即戸外の運動とか遊戯になりますと種々の種類があつて學校の生徒などでは自分の學校でする体操の外にまた十分致します、遊技の方では競争的に驅ける事や玉を投げる杯が主でありますが其場處は一の町ならば町、村ならば村に設けてある即ち共同運動場で其處には器械もあり教員も居る、大層準備して居て學校の生徒も行きまですし又家事にたづさはつて居る者なども其處に行つて運動致します、冬は氷すべりがあり春

になるとゴルフと云ふ遊技があつてそれは向うに大層流行つて居る、それから自轉車乗り、ロンドンヌといふやうな事をやつて居ります、唯々つまらなく家の中で暮すよりは外に行つて身体を動かそう、日光に當つて來やう新鮮な空氣を吸ふと云ふ様に心がひいて居る、この様に學校で世話をしして体操をさせる遊技をさせる外に凡べての人、自分自身に年を取つた者でも若い者でも皆熱心にするのでござります、然るに我邦では昨今体育にはよほど意を注ぎ學校でも女子の生徒にも喧しく言つて体操遊戯などを熱心にする様に奨勵して居ることでありますからこれから學校の中に居る女學生などは今までの者よりも体育を大事にすることにませうが學校内に居る時ばかり大事にする氣があつて學校を出ればさういう事は

入用がないと思ふのか、又入用がある事を知つて居てもする事がいやとなるのかどうか知りませぬが其後は忽ち打ちやる有様であります、學校の生活をする時ばかりでなく、人の妻となつて家事を執るやうになつても教師となつてそれ／＼教職に従事して行かねばならぬことになつても夫を打捨てぬやうつまり外國の者の宜い考を取つて行かねばならぬと思ひます併し日本の有様で言へば場所がないと言へば口實になりますし人に笑はるゝからと言へば又それも口實になります、只阻害されることばかりで少しも奨励の道が立つて居りませぬ故、仕方がありませぬけれどもそれが教育に従事して居る女は奮發して今までの弊害を破り出来る範圍内で實行して行くことが必要であらうと思ひます、

其次に申上げたいのは衣食住の事であります、これは全く向うとは異つて居るのであります体操とか遊技とか云ふ者は學校の一の學科となつて居ますから學校で奨励して行きますれば自然と改良進歩の點に向て行かぬともありませぬが、モウ一の衣食住の事になるとこれからドウ云ふ様にして行けば宜いであらうドウ云ふ様にすれば体育に都合よく益を與へる様にならうかと云ふことは大變六ケしい問題であらうと思ひます、日本の今の様な衣食住の有様でありますれば、ドンなに學校で体操や遊戯などを喧しく言つたところで、幾ら運動せよと云つて奨励した處で迎もいかぬと思ひます第一衣服でござりますが、これは近頃幼稚園小學校あたりで衣服の改良が暗ましくありまして他の幼稚園は見ませぬが此處の幼稚園を見ても筒袖に

袴はかまを穿はいて居ゐらるゝ、小學校せうがくかうの尋常科じんじやうかになつてもさうでござりますし、此頃このころ一般東京府下おんとうきやうふかの生徒せいしは筒袖つうそでや袴はかまが制服せいふくの様やうになつて教員けういん始めさういふものを召よめされると云ふことでござりますが、誠に結構けつこうな事ことで今までの長い袖そでに袴はかまを着つぬ時ときよりは遙はるか宜いいでござりませう、第一胸隔けうかくを狭せまめる一いっの原因げんいんになる袖そでの目方めかたを減へして臂ひじの運動うんどうの自由じゆうを助け、脚部きやくぶが現あらはれて運動うんどうの爲ためにごく都合つがひのわるいのを袴はかまで以もつて隠かくされますので今いままでよりは脚部きやくぶの方ほうの運動うんどうも多少自由たせうじゆうになつたのでござりませうけれども、それがまだ一いっ全完無欠ぜんわんむけつの服装ふくそうといふ所ところまで行いつて居ゐらぬと思おもひます、ドウ云ふ風ふうに改良けいりやうして宜いいかと云ふことは非常に大たいなる問題もんだいで、これから女おんなの考かんがへて行ゆかねばならぬ大事だいじのことであらうと思おもふ、もし筒袖つうそでに袴はかまといふ服装ふくそうは日本にほんの

ドウ云ふ場合ばいばいでも着きて行ゆかるゝとすれば學校がくかうの生徒せいしばかりでなく一般ばんの女おんなの方々かたがたでも勸すすめやうに依よつて着きられぬことはありますまいが、只今ただいまの所ところでは恰好かつかうが可笑おかしい、當あたり前まへの着物きものに袴はかまはまだ宜いいけれども年としを取とつた人ひとには筒袖つうそでに袴はかまは見た所ところが誠に可笑おかしい、夫故規則それゆへきぎになつて居ゐりでもすれば格別かくべつ、自由じゆうにすれば着たがらぬ夫故學校それゆへがくかうの内うちだけの小こい子こ又は教員けういんばかりにのみ用もちひられて一般ばんの人ひとには用もちひられぬからいけませんもし人が勇氣ゆうきを出だして奮發ふんぱつしてさういふ着物きものを着きて構かまはず學校がくかうのみでなく他たを訪問ぼくしんする時ときでも用もちゐるといふ事ことになりませんければいけませんまい併しかしまづ暫しばらくの間あいだは筒袖つうそでに袴はかまといふ事ことにしておき他た日今たぢいままでの優美ゆうびと言いはれたものに代かはるだけの物ものがでて來きた時ときに一般ばんに代かへらるゝのであらうけれども、それまでには時日じじつが

あると思ひますが是も矢張り教育に従事して居る者が先きになつて見ともないとか可笑いとかに構はずに世の中の人の先きに立つて改良せねばならぬものは改良する事にしたら宜しがるうと思ふ、私は米國に参りましてから衣服の改良と云ふことが大層やかましく日本の雑誌新聞などに御座いますして或は經濟の點、或は美術の點からいろ／＼の御説があつた様に拜見しましたが歸つてから二人の改良服を着た方を見たばかりでござります我邦では婦人の衣服の改良など云ふ事も多くは男の方から仰つしやることで女の方からあまり進んでしませぬから、一寸アレコレといふ説が出ても遂には實行が出来ずに立ち消えになるのでありませうからドウか私共女が先きになつて日本の婦人に適當な着物を拵へ出すと云ふことにしたいも

のであります、殊に恰好ばかりでなく、日本に歸つて感じたは三四年前より大變贅澤になつて居はしないかと思ひます、向うの中等の生活の者と日本の中等の者とを比べて見ますに日本の方が着物が贅澤に過ぎぬかと思ふ、私はむかふの大學の教授の處に寄宿して居ましたが此家の生活はあまり裕かでござりませぬがまづ中等以上と云つてもよく御座いませう、其の奥さんの衣服はさう一年に幾枚も出来ると云ふ事はありませぬ冬になれば一通り位出来るといふ様なもので餘程質素なものでござります、其處の家の子供は十四五、其次に十歳位の女の子がありました、絹の着物などは一切持ちませぬ、教會に出る時の着物が夏、冬、其時節々々一通りあるばかりで日本の子供の様に幾重ねも持つて居ませぬが其の着物の事に就てははし

いとか買うてくれなどいふ事は一寸も言ひませぬ
 小さい男の子も夏は夏の服、冬は冬の服一組づゝ整
 へ古いのは教會の手を経て貧乏な者に遣るのでご
 ざりませぬ、日本で目下中等の者になると何度も同
 じ物を着られぬとか云つて金を掛けていろ／＼と
 拵へる、それが子供にも移つて贅澤の着物を着せ
 るやうになりますから子供も着物に氣が移つて十
 分思ふ通りに運動の出来ぬといふ事になるであら
 うと思ひます統計を取つて外國の着物と日本の着
 物とを比較しては申されませぬが、一寸見た所で
 はさういふ感じがござります
 それから食物は日本の仕來りがござりますし經濟
 が許しませぬから外國の人の様によい食物をたべ
 る事は出来ませぬでしやう、むかふの人は肉食を
 餘計するので三度に三度肉を食べるといふ風で比

較上着物より食物には遙かに金を掛けるやうであ
 ります、私がむかふで大層富んで居るといふ家に
 行つた時でも中等の家に参りました時でも食物に
 於てそう異りはござりませぬ、尤も咖啡でも善い
 悪いで値が差ふし、肉の中にも善し悪しがあるか
 も知れませぬが私共には左程著しきちがひは見
 えませぬ即ち日本では善い着物を着る即ち外形を
 飾る爲めに粗食致しまするし向うは外形を飾らず
 に身体の營養を致す食物に氣を付けるそういふ點
 は大層異なる事で日本人もこれから大いに考へねば
 ならぬことと思ひます、幼稚園の方はよく存しま
 せぬけれども小學校高等女學校の生徒の辨當とい
 ふものが近頃私の注意を惹きました事であります
 が、之を向うの人々の辨當に比べましたならば誠
 に少量のものであります向うの子供はパン肉菓子

果實牛乳まで種々の物を持って参りまして其の辨當を食べて居る處を見ますとまことに嬉しさうにゆつくりとお互に静かに談話しながら食べて居る日本では婦人は大食は醜いとか下品とかといふて食べたいものもたべず小食をよく自慢して居りますのであります、一体過食といふ事は決してほむべき事でありませぬが見えのみを飾りてお腹を空かして居るのもいかぬと思ひます殊に体操とか運動とか云ふことを奨励する事でありませぬばなほ又食物が好くないといけませぬ、もし身体の本を捨へる營養が即ち食物がよろしくなければ運動とか強い体操は却て害になりませぬと決して益になりませぬ、好い食物を食べ身体の營養を宜くし其上で運動をよくすればこそ身体の健康の度も進みますが唯々茶漬ばかり食べて居る様な者に無

理に運動をさせる様な事は身体の組織を崩すばかりで何の益にもなりませぬ故に一方に体操遊戯を勧めるならば一方に食物をよくせよと言はねばならぬ、従来漢學教育の餘習粗食して勉強するといふ事が大層よろしい事になつて居りましたが、今日の如く頭を使ふ事の多い世の中ではとても成り立つものではありませぬからその様な考は一切捨て、しまひ子供の時分から食物に氣を付け一方に運動をすゝめて行かぬばならぬと思ひますそれから家屋の事でござりますが、これも一の問題でござりませう、自分の例をあげて見ましても向うに居る西洋風の家に住むのと日本に歸つて日本の家に住むのと大變心持ちがちがひます即ち日本の家では一体の事に不精になると云ふわるい習慣をつける様であります例へば寒い時に坐つて火にあ

たるも立つのがオツターである、取つて見たいと思ふものがあつても止めるといふ事になります。腰を掛けて居れば少しもそんな事がなくサツサツと出来ませぬ。此様にすわるといふ事が不精にするのみならず、今までの日本人の脚部の發達の不完全な本を拵へて居るのも家屋でないかと思はれます。日本人は一般割合に脚部が短い、此頃三宅醫學博士が書かれたものを讀みましたのに、胴と脚部と半分々々ならばまた宜いが、人に依つて胴の方が脚部より長い者があると云ふことが、御坐いました。向うへ行くと（自分の身体は見えぬが）日本人と向うの人と並んで立つて居るのを見れば、胴の長さにはさほど差ひませぬが、脚の長さが大變差ひます。且つ日本人は膝頭から下の方が内に曲つて斯ういふ（手真似）恰好になつて居る人が多い、女の人には

内八字が殊に多い、これは外國で見られぬこと、却て外八字の方が多くあります。畢竟我國で、小さい時から坐つて居るから弓の形ちの様に、脚を伸ばしても膝の所が着かぬとか、膝の下が明くが多いとか云ふとであります。もし西洋の様に腰を懸くる事になりましたならば、血液の循環も宜しくなつて自然の發育を妨げられず、且つ其關節も天然自然の格好を妨げらるゝことはなくなりませうと思ひます。然らば何もかも向うの様に變へるが宜いかと云ふにまたなか／＼其様な急激な變化は出来ませぬ、只今では學校官省くらゐが向うの様に腰掛、椅子になつて居りますから、まづいくらか喜ぶべき事でありませぬ。もし普通の家屋でも是から新しく建築せらるゝといふ事でも、ありましたならば、疊や床の間の飾りとか云ふ事に、贅澤に金を掛

けるよりは其經費の一端を以て椅子卓子のやうなもの
 を備ひつけて行くといふ事になりましてたら今
 までの様な發達を妨げることが多少なほる事かと
 思ひます出來ぬ〜と云へば何時までも出來ませ
 ぬから幼稚園あたりから教育を受けて行く子供に
 段々吹き込んでおきまして他日即ち二三十年の後
 でもよろしいから其の方の考へを取つて改良する
 様な事が出來ぬでもなからうと思はれます
 モウ一つ附け加へたいは幼稚園の先生などは自分
 で自分の年齢をお忘れになつて子供の境遇になり
 子供と一緒に遊戯をして居らるゝことでござりま
 すから改めて申上げる必要もないかも知れませぬ
 が、其上の小學校、女學校の教師となる人は生徒
 と教師との考へに甚しき懸隔が出來まして生徒に
 遊技をせよとか体操をせよと云ふことを云つても

只口だけで自分が卒先してやる方が少ないやうに
 思はれますそれが今日此頃の小學校女學校あたり
 の女生徒に体操を嫌はすとか進んで運動をせぬと
 かいふ一の原因になつて居るのではあるまいかと
 思はれます殊にこれまでの体操の先生は男の方ば
 かりで女の人は餘計たづさはつた事はなかつたの
 であります若し此後体育が任用である体育は身
 体ばかりでなく精神上に非常の關係を有つて居る
 ものと云ふことが分つた以上はこれまでの女子の
 身体で決して満足すべきものでないと思はれます
 この様な事を通常一般の女に言ひましても只狂氣
 じみた事の様には思はれ採用にならぬは當り前であ
 りますが、教育に従事せらるゝ方々が自分と卒先
 して盡力になり、これから家庭で教育せらるゝ方
 でも學校幼稚園で教育せらるゝ方々でも其の御積

りで子供に仕込んで下さつたならば今までよりは
精神の快活な身体の確かりした丈夫な女が出来る
であらうと思ひます、餘り長くなりませすから先づ
これだけにして置きます、

(了)

残りなく

散るぞめでたき櫻花

ありて世の中

はてのうければ



花のかたみ

春漸く老いて何處よりともなく散り来る殘花數片。將に今年
の告別となすに當りて殘し去りたる紀念數葉。そも何事を
記せる今や瀕死の花必ずや良き言あらんいでや茲に寫して諸
姉と共に讀まんかな。

やて

さても無情の世の中にて候 一年振りに御目に

かゝりやれ嘻しやたのもしや、いざや昨年御別れ

申して以來の事柄承はりもし申しも上げんと思

ひしは昨日今日と存候に早くも落花の今日と相成

申候